

民主的學生大会を開催し、封鎖を自主解決し、民主化を闘う体制を早急に確立せよ

全学連支持会議

①「封鎖」は何を生みだしたか

「全共斗」一派とその追随者革新グループによって、神聖化された封鎖は、学内の混乱状況以外何者をも生みださずにタラタラと続行されている。

「全共斗」の封鎖は向う民主化をもちこたうことなく、それどころか、権力の介入の危険性をますます増大させ、民主化斗争を破壊し、市大「解体」の道をつき進んでいる。

いったい封鎖は何を生みだしたか

- ①「市大帝国主義大学の機能を停止させた」とは変革されたか？
- ②全共斗に反対する者は「革命的暴力」の名で個人テロを受けたり学園の暴力支配
- ③全共斗に反対する集合にはヘルメットとガバ棒でなぐりまされ、この状況を生みだし、言論、集合の自由は圧殺され
- ④世論に「大学は暴力で支配されているから、行動隊を入れて何とかせねば」という大学の自治を理解しない感情を生み出した。
- ⑤それによって政府自民党に支那で「全共斗はベビーギャングで泳がせておいた方な」と言われ、大学の自治を丸ごと権力のドロ軌でかみこむ絶好の口実を与えた。

政府自民党は、権力によって大学を圧し、その自由を圧殺し、小中高校で養成してきた「期待される人間像を大学で身成させるため、大学の自治を破壊し、教育研究の反動化を策して、全共斗一派を泳がし、その封鎖、暴力を最大限利用して、大学と世論を分断しつつ、歴史上かつてなかった程の反動的立法制定の策動を進めている。同時に、大阪市、自民党の市大への攻撃、しめつけも強化され、更にいわゆるタイムリミットを期に一層強化される事は明白である。

我々は、このような情勢の下で急速に戦列を固め、全共斗の策動を打破し、政府自民党と真正面から対決し、体制を確立しなければならぬ。

②民主的學生大会の開催を

このような時、我々は封鎖の自主解決と自治会強化、民主化推進を任務とする学生大会を開催する必要がある。

反学生の封鎖が行われている、自治会は崩壊状態にあるが、それは唯一、全共斗の自治会破壊に責任がある。我々はこのような自治会の再建強化をもちとり、封鎖に対して自治会として明確な糾弾の態度をとり、その自主解決のために民主的の管理運営による学生大会開催をもちとりはばかり。

この学生大会は、一人一人の学生の総団結した力で準備され、守り、成功させられねばならない。全てのクラス、サークルで討論し、具体的に学生大会を成功させる行動に立ちあがらねばならない。現在の民主化斗争と封鎖の自主解決は一人一人の学生が真剣に主体的にとり組まねば限り解決しないであろう。もし自らの責任をあいまいにし封鎖を放置するならば行動隊の侵入、常駐化（阪大を見よ）など一層の混乱と反動化の道以外進む事は出来なくなるであろう。一人一人の真剣な態度と全学生の団結以外に斗いの展望はありえない。我々は全学生が次の行動を団結して遂行する事を主張する。

1. 全学友は毎日登校し、クラス、サークルで討論を確立させる
2. その中で封鎖の本質と立法化の攻撃を明らかにし、封鎖糾弾、立法粉碎の決議をあげ、ビラまき、デモなど自発的行動に立ちあがれ
3. 市大民主化のもつとも具体的課題、要求を論議し、新しい大学像を討論する中で、要求をまとめ、自主力、リキエラム、講座などを組織して新しい学問研究創出の斗い、変革の斗いにクラスぐるみで立ちあがれ
4. 自治会の最高決定機関である全学学生大会を開催し封鎖を糾弾し、封鎖の自主解決と民主化斗争勝利の突破口とせよ
5. 自治会の再建強化をもちこたえ
6. 学生大会実現に向けてクラス、サークル、サークルごとで行動で立ちあがれ、有志の段階でも有志連合などを組織して立ちあがれ
7. 学部集会を成功させよ